

大阪市高速電気軌道（株）

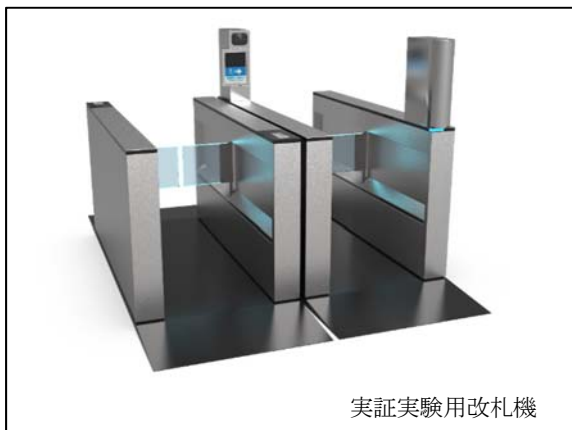
顔認証技術を用いた「次世代改札機」の実証実験を開始しました

1 実証実験の開始

Osaka Metro（大阪市高速電気軌道株式会社）は、令和元年12月10日（火）から、顔認証技術を用いた次世代改札機の実証実験を開始しました。

実証実験は、Osaka Metro 社員を対象としており、改札機に取り付けたカメラで、あらかじめ登録した Osaka Metro 社員の顔写真データと照合し、一致した場合に改札ゲートが開きます。顔写真を登録すれば、ICカードや磁気券を使わずに改札機を通過できます。

次世代改札機は、オムロンソーシアルソリューションズ、高見沢サイバネティックス、東芝インフラシステムズおよび日本信号の4企業の協力を得て、Osaka Metro の4駅でそれぞれ異なる改札機を試験設置します。



2 QRコードを用いた実証実験も実施

顔認証技術による実証実験と同時に、QRコードを用いた改札機の実証実験も開始しました。

実証実験は、改札機に取り付けたQRコードリーダーで社員が携帯するQRコードを読

み取り、事前登録した社員のデータと照合し、一致した場合に改札ゲートが開きます。このシステムは、次世代媒体の可能性を検証するための実証実験で、Osaka Metro 社員を対象に検証しています。

3 今後の展開について

実証実験を行う駅は、Osaka Metro 長堀鶴見緑地線ドーム前千代崎駅、中央線森ノ宮駅、堺筋線動物園前駅および御堂筋線大国町駅の4駅です。各駅にそれぞれ異なる企業の改札機を設置し、機能性、利便性、デザインについて比較検証します。実験期間は、令和2年9月30日（水）までの予定です。

顔認証技術を用いた改札機を採用した鉄道事業者は現在のところありません。

この技術は、あらかじめ登録した顔写真データを本社内のサーバーに送信し、照合・承認により改札ゲートを開閉させるため、現時点では、改札機を通過するまでに時間がかかるなど多くの課題がありますが、実証実験を重ね、新たに出てくる課題とともに解決し、2024（令和6）年度の全駅での導入に向け、検討基礎データを蓄積していきます。

Osaka Metro は、今後もチケットレス改札などの新しい技術やサービスを積極的に推進し、地下空間全体の価値の最大化を目指していくとともに、大阪から元気を創り続けられるよう貢献していきます。

（問い合わせ）Osaka Metro 広報課

電話：06-6585-6132